



新型コロナウイルス

昨年末に中国湖北省武

漢市で数十人発症した新

型コロナウイルス感染症

があつとつ間に世界中

に広がり、ちよつとした

咳症状にも敏感になる方

が多くなりました。私の

訪問診療でも肺炎治療に



松原 清二 医師

在宅療養支援診療所「まつばら
ホームクリニック」院長
総合内科専門医・循環器内科医
・日本循環器学会専門医
・日本内科学会認定医
・認知症専門医
・認知症サポート医

は今まで以上に神経を使
うようになりました。

先日はこんな例があり
ました。筋萎縮性側索硬

化症で、最近痰を吐き出
す力がやや落ちていた方

がいるのですが、痰絡み
の咳がひどくなり、熱も

出るようになったので、
まずは通常の初回の抗生

剤治療を行いました。と
ころが改善が乏しく、車

椅子に座る体力もなく
なつて身体が横にずれて

しまつほどだったので、
すぐに2剤目の抗生剤治

療に切り替え、排痰補助
装置の設定を調整したり

して、速やかな改善を見
ることができました。こ

のときは、自分が経験し
てきた治療範囲内で治

まつて本当に良かったと
思いました。

ただ、この時期、新型コ
ロナウイルス感染症に対

する知識は大切で、武漢
から報告された138人

の入院症例では、約半数
は高血圧、糖尿病、心疾

患の一つは有しています。
も滞りがちですが、そん

この事実を見ると、こつ
な世の中を懸念して、

いった持病のある方もし
くはご家族、患者さんに

関わる介護の方々には、手
洗いが、消毒は入念

にする必要があると思ひ
ます。

そついった方々のため

Youtubeなど動画で当院を紹介しています

患者さんのご協力を得て、当院の訪問診療の様子

などを動画で紹介しています。左下QRコード「タ

ウ」通信のホームページ（<https://www.tow-ri-tyou.com>）または、Youtube（<https://www.youtube.com/watch?v=odyan2k0asw&t=2s>）と見

られます。



今、世界中が新型コロナ
ウイルスと戦い、世界

中の人が感染予防のため
提供し続けたいと思ひ

ます。

にも、我々としては院内

から感染対策に留意し、

【まつばらホームクリニック】
☎ 042-439-1250
 西東京市東町 4-14-18-2F
 （訪問中のため不在が多い）
 ■電話対応：午前 9:00～午後 6:00
 ■定休日：土日（祝日は診療）
 ■訪問地域：西東京市、東久留米・
 新座・練馬の一部

まつばらホームクリニック

↑診療相談は
こちらから